

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月11日

上場会社名 油研工業株式会社

コード番号 6393 URL <http://www.yuken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 向出 靖弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長

(氏名) 永久 秀治

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

TEL 0467-77-2111

配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,706	△49.8	△322	—	△527	—	△413	—
21年3月期第1四半期	7,388	—	558	—	661	—	354	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△9.52	—
21年3月期第1四半期	7.99	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	30,644	13,080	37.7	266.07
21年3月期	32,189	13,862	38.6	286.19

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 11,550百万円 21年3月期 12,424百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	3.00	3.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	9,000	△39.6	△300	—	△400	—	△450	—	△10.37
通期	22,000	△13.1	300	△71.7	200	△78.0	0	△100.0	0.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更        | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |             |             |             |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第1四半期 | 45,106,764株 | 21年3月期      | 45,106,764株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年3月期第1四半期 | 1,695,972株  | 21年3月期      | 1,693,949株  |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 43,411,960株 | 21年3月期第1四半期 | 44,440,167株 |

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、金融危機が招来した昨年秋以降の景気後退局面が依然として継続し、輸出や生産など一部に持ち直しの動きがみられたものの、企業収益や設備投資が大幅に減少するなど、全体として厳しい事業環境で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、グローバルな販売体制の強化、新商品開発、徹底した原価低減と経費削減を実施し、売上と利益の確保にグループを挙げて取り組みましたが、厳しい環境の中、営業損益、経常損益及び四半期純損益ともに損失を計上する結果となりました。

当第1四半期の連結業績は、景気後退による需要低迷、在庫調整の影響を大きく受けて、国内の売上高は大幅に減少し、また、これまで受注拡大を牽引した中国・アジア地域は急速な需要冷え込みの後、景気持ち直しの動きも見られましたが、総じて厳しい局面が続きました。

こうした需要環境を受けて、当第1四半期における売上高は前年同期比49.8%減少の37億6百万円となりました。損益面では、引続き、緊急コスト削減策による固定費の圧縮、操業体制の見直し等を実行し、収益改善を図りましたが、売上高減少に伴う限界利益の減少により、営業損失は前年同期比8億8千万円の減益となる3億2千2百万円、経常損失は同11億8千8百万円減益の5億2千7百万円、四半期純損失は同7億6千8百万円減益の4億1千3百万円となりました。

なお、当社の子会社である韓国油研工業株式会社及び油研液圧工業（張家港）有限公司を当連結会計年度より連結子会社としております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から15億4千4百万円減少し、306億4千4百万円となりました。増減の主なものは、流動資産では受取手形及び売掛金が20億9千9百万円減少、たな卸資産が5億1千3百万円増加、固定資産では有形固定資産が10億6千9百万円増加、投資有価証券が13億9千万円減少しております。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億6千3百万円減少し、175億6千3百万円となりました。増減の主なものは、支払手形及び買掛金が15億9千9百万円減少、短期借入金が3億6百万円減少、長期借入金が7億4千8百万円増加しております。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億8千1百万円減少し、130億8千万円となりました。利益剰余金が9億6千7百万円減少しております。

自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.9ポイント減少し、37.7%となりました。

## (キャッシュ・フロー計算書)

営業活動によるキャッシュ・フローは1億1千5百万円の支出となりました。収入の主なものは、減価償却費2億1千5百万円、売上債権の減少28億8千9百万円、たな卸資産の減少3億4千3百万円等であり、支出の主なものは、税金等調整前四半期純損失5億1千3百万円、仕入債務の減少28億2千8百万円等であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは1億6千万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1億6千4百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは2億1千6百万円の収入となりました。収入の主なものは、長期借入金の純増額（返済による支出との純額）10億7千8百万円等であり、支出の主なものは、短期借入金純減額8億9百万円等であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べて1億2千2百万円減少し、36億5千万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、在庫調整圧力の低下、中国を中心に対外経済環境の改善による景気持ち直し等が期待されますが、依然として先行き不透明な状況は継続するものと予想されます。当社グループといたしましては、直面する厳しい事業環境を乗り越えるため、あらゆる経営努力を傾注して国内外の幅広い顧客への拡販を図るとともに、一層の原価低減、固定費の削減を徹底し、売上と利益の向上に努めてまいります。

なお、業績予想につきましては、現時点では平成21年5月15日に公表しました業績予想を変更しておりません。今後、修正の必要性が生じた場合には、適時かつ適切に開示してまいります。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### ②たな卸資産の評価方法

実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価格を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

##### ③固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計算する方法によっております。

##### ④法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

税金費用の計算については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

##### ⑤未実現損益の消去

四半期連結会計期間末在庫高に占める当該棚卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積って計算しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

## 5 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,324,963	4,198,463
受取手形及び売掛金	8,398,481	10,497,747
有価証券	8,254	7,485
商品及び製品	3,625,140	3,230,904
仕掛品	1,323,775	1,131,931
原材料及び貯蔵品	2,641,686	2,713,846
その他	1,187,237	1,057,417
貸倒引当金	△246,517	△256,456
流動資産合計	21,263,022	22,581,340
固定資産		
有形固定資産	6,319,588	5,250,310
無形固定資産		
のれん	151,834	—
その他	73,112	52,550
無形固定資産合計	224,947	52,550
投資その他の資産		
投資有価証券	1,772,318	3,162,886
その他	1,083,013	1,161,754
貸倒引当金	△18,404	△19,487
投資その他の資産合計	2,836,927	4,305,154
固定資産合計	9,381,463	9,608,015
資産合計	30,644,486	32,189,355
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,447,207	5,046,246
短期借入金	3,870,840	4,177,750
引当金	55,801	297,178
その他	1,309,008	905,249
流動負債合計	8,682,857	10,426,425
固定負債		
長期借入金	6,378,245	5,630,091
退職給付引当金	2,125,371	2,158,045
負ののれん	—	3,234
その他	377,293	108,986
固定負債合計	8,880,910	7,900,357
負債合計	17,563,768	18,326,782

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,109,101	4,109,101
資本剰余金	3,853,007	3,853,007
利益剰余金	4,743,369	5,711,013
自己株式	△458,870	△458,540
株主資本合計	12,246,608	13,214,581
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	206,654	100,893
繰延ヘッジ損益	△8,832	△27,801
為替換算調整勘定	△894,105	△863,478
評価・換算差額等合計	△696,282	△790,386
少数株主持分	1,530,392	1,438,377
純資産合計	13,080,718	13,862,572
負債純資産合計	30,644,486	32,189,355

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	7,388,351	3,706,474
売上原価	5,459,575	2,962,113
売上総利益	1,928,775	744,361
販売費及び一般管理費	1,370,072	1,066,471
営業利益又は営業損失(△)	558,703	△322,109
営業外収益		
受取利息	8,722	200
受取配当金	20,985	15,122
為替差益	96,667	—
負ののれん償却額	1,078	—
雇用調整助成金	—	48,042
その他	47,609	14,522
営業外収益合計	175,063	77,887
営業外費用		
支払利息	56,180	69,626
為替差損	—	206,990
その他	16,435	6,224
営業外費用合計	72,616	282,841
経常利益又は経常損失(△)	661,150	△527,063
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	13,612
特別利益合計	—	13,612
特別損失		
役員退職慰労金	21,350	—
固定資産売却損	—	500
特別損失合計	21,350	500
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	639,800	△513,951
法人税等	253,653	△86,910
少数株主利益又は少数株主損失(△)	31,194	△13,880
四半期純利益又は四半期純損失(△)	354,952	△413,159

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	639,800	△513,951
減価償却費	206,270	215,604
のれん償却額	—	12,630
負ののれん償却額	△1,078	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,296	△21,820
退職給付引当金の増減額(△は減少)	17,082	△43,097
受取利息及び受取配当金	△29,707	△15,322
支払利息	56,180	69,626
為替差損益(△は益)	—	△1,128
売上債権の増減額(△は増加)	△376,974	2,889,867
たな卸資産の増減額(△は増加)	△461,114	343,426
仕入債務の増減額(△は減少)	△172,893	△2,828,751
その他	142,139	△161,158
小計	22,000	△54,075
利息及び配当金の受取額	29,707	15,477
利息の支払額	△38,703	△54,379
法人税等の支払額	△231,775	△22,598
営業活動によるキャッシュ・フロー	△218,770	△115,575
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却による収入	32,755	—
有形固定資産の取得による支出	△369,332	△164,925
有形固定資産の売却による収入	—	2,520
投資有価証券の取得による支出	△51,799	—
貸付けによる支出	△4,000	—
貸付金の回収による収入	521	656
その他	△4,237	1,509
投資活動によるキャッシュ・フロー	△396,091	△160,239
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	506,632	△809,435
長期借入れによる収入	400,000	1,300,000
長期借入金の返済による支出	△282,263	△221,556
自己株式の取得による支出	△721	△330
配当金の支払額	△45,479	△33,360
少数株主への配当金の支払額	△9,405	△18,951
財務活動によるキャッシュ・フロー	568,763	216,366
現金及び現金同等物に係る換算差額	△127,888	△62,940
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△173,987	△122,388
現金及び現金同等物の期首残高	3,717,684	3,424,294
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	81,887	348,687
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,625,584	3,650,593

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

事業の種類として「油圧機器事業」および「その他の事業」に区分しておりますが、全セグメントの売上高の合計、営業損失および全セグメントの資産の金額の合計額に占める「油圧機器事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

## 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,142,411	2,140,499	105,440	7,388,351	—	7,388,351
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,311,900	324,930	—	1,636,831	(1,636,831)	—
計	6,454,312	2,465,430	105,440	9,025,182	(1,636,831)	7,388,351
営業利益	506,244	114,131	12,103	632,480	(73,776)	558,703

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……台湾、香港、インド

(2) その他……イギリス

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,539,958	1,121,303	45,211	3,706,474	—	3,706,474
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	386,894	141,736	—	528,630	(528,630)	—
計	2,926,853	1,263,039	45,211	4,235,104	(528,630)	3,706,474
営業利益又は営業損失(△)	△314,281	23,662	△14,324	△304,942	(17,166)	△322,109

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……台湾、中国(香港)、インド、中国(張家港)、韓国

(2) その他……イギリス

## 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	アジア	北米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	2,620,254	79,660	82,279	49,330	2,831,524
II 連結売上高(千円)					7,388,351
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	35.4	1.1	1.1	0.7	38.3

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……中国、台湾、インド、韓国

(2) 北米……アメリカ

(3) ヨーロッパ……イギリス

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	アジア	北米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	932,052	28,633	34,981	21,496	1,017,164
II 連結売上高(千円)					3,706,474
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	25.2	0.8	0.9	0.6	27.4

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……中国、台湾、インド、韓国

(2) 北米……アメリカ

(3) ヨーロッパ……イギリス

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。